

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	真岡市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	真岡市夏祭り花火大会 開催事業	総事業費	18,216,857	18,809,696	19,104,511	22,000,000	22,000,000	100,131,064
		うち市町支出額	1,800,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	9,400,000
		うち県交付金	900,000	950,000	950,000	0	0	2,800,000
2	尊徳夏まつり開催事業	総事業費	8,862,832	8,840,484	9,693,354	10,000,000	10,000,000	47,396,670
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,828,000	1,828,000	1,828,000	7,484,000
		うち県交付金	500,000	500,000	914,000	0	0	1,914,000
3	もおか“いちご”フェスタ	総事業費		6,983,343	7,000,000	7,000,000	7,000,000	27,983,343
		うち市町支出額		6,835,225	0	0	0	6,835,225
		うち県交付金		3,000,000	0	0	0	3,000,000
4	真岡井頭マラソン大会	総事業費		7,333,545	7,149,739	7,370,000	7,370,000	29,223,284
		うち市町支出額		2,160,000	2,160,000	2,160,000	0	6,480,000
		うち県交付金		1,080,000	1,080,000	840,000	0	3,000,000
5	真岡市音楽祭	総事業費			2,455,657	3,000,000	3,000,000	8,455,657
		うち市町支出額			2,441,638	3,000,000	3,000,000	8,441,638
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
6	真岡市大産業祭	総事業費			1,390,000	1,390,000	1,390,000	4,170,000
		うち市町支出額			1,260,000	1,260,000	1,260,000	3,780,000
		うち県交付金			630,000	630,000	630,000	1,890,000
7	もおか木綿踊り	総事業費			5,606,561	7,300,000	6,100,000	19,006,561
		うち市町支出額			3,700,000	5,000,000	4,200,000	12,900,000
		うち県交付金			1,500,000	1,500,000	0	3,000,000
8	真岡いちごウオーク	総事業費					6,360,000	6,360,000
		うち市町支出額					4,000,000	4,000,000
		うち県交付金					2,000,000	2,000,000
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	27,079,689	41,967,068	52,399,822	58,060,000	63,220,000	242,726,579
		うち市町支出額	2,800,000	11,895,225	13,289,638	15,148,000	16,188,000	59,320,863
		うち県交付金	1,400,000	5,530,000	6,074,000	3,970,000	3,630,000	20,604,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡市音楽祭
事業主体の名称	真岡市音楽祭実行委員会
代表者の名称	会長 深野 照代
事業主体の所在	〒321-4305 真岡市荒町1201番地 真岡市文化課内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:市民の音楽文化活動への参加意欲を喚起し、地域文化の交流・発展に寄与することを目的とする。</li> <li>・設立年月日:平成8年</li> <li>・構成員等:真岡市内で活動している音楽団体等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>今回で第25回を迎え、音楽を楽しみ、関心をもってもらうために実施しており、未就学児から一般音楽団体まで出場できるコンクール形式をとらない音楽祭として定着している。市内の小学校、中学校、高校が合同吹奏楽団や合唱団を編成して出演し、他校の児童生徒との貴重な交流の機会となっている。また、一般団体もジョイント形式を取り入れ、ジャンルもクラシック音楽にこだわらず、和太鼓集団が参加するなど多彩な演奏を楽しむことができる。</p> <p>しかし、こうした自主的な音楽文化活動が行われる一方で、近年、参加者の高齢化や固定化、若年層の活動離れ、文化協会会員の高齢化、文化協会団体数や会員数の減少などの問題があり、今後いかんして参加者や会員数を増やし、市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会を充実させながら、誇りと愛着の持てる地域コミュニティを築き、そして維持していくことが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の音楽文化活動への参加意欲を喚起する。</li> <li>・地域文化の交流・発展に寄与する。</li> <li>・ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を醸成する。</li> <li>・真岡市に興味をもってもらい、移住定住を促進する。</li> </ul>
事業概要	<p>【令和2年度】</p> <p>◎音楽祭の開催(令和2年11月8日(日)) 園児の太鼓演奏から始まり、小中高生の吹奏楽部の演奏や合唱、特別出演団体や一般団体の演奏など全8部で構成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数 約1,500人</li> <li>・参加団体 市内の幼稚園・保育園、小中学校、高等学校、一般音楽団体(本市に活動拠点を置く)、特別出演団体</li> </ul> <p>○開催前の主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年4月 参加団体公募締切</li> <li>・令和2年5月 無料練習の一斉受付</li> <li>・令和2年8月 プログラム編成、合同演奏団練習</li> <li>・令和2年9月 ポスター・チラシによる開催案内を開始(ポスター50枚、チラシ5,000枚、配布場所:県内公文教施設他)</li> <li>・令和2年11月 楽器の輸送、児童生徒の送迎</li> </ul> <p>《音楽文化活動への参加意欲向上の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児から一般音楽団体まで出場できるコンクール形式をとらない音楽祭で幅広い層の参加を募っており、近年は参加者や観客者が増加傾向である。自ら企画し演奏し、そして演奏する楽しみを体得する。</li> </ul> <p>《地域文化の交流・発展の取組》</p> <p>市内の小学校、中学校、高校が合同吹奏楽団や合唱団を編成して出演し、他校の児童生徒との貴重な交流の機会となり、一般の団体も出演するため、演奏の仲間づくりができるとともに、地域との繋がりが密接なものとなる。</p> <p>《真岡市に興味を持つ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真岡市の魅力PR…観光パンフレットおよびシティプロモーション冊子の配布。</li> <li>・公式Instagramに真岡の魅力を多くの方に写真を通して情報発信。</li> </ul> <p>【令和3年度以降】</p> <p>令和2年度の実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】 東京圏への転出超過 平成30年度 11人→令和6年度 転入超過を目指す (R1実績●人)</p> <p>【KPI】 年間観光客入込数 平成30年度 299万人→令和6年度 305万人 (R1実績●人)</p> <p>○基本目標4 安心で暮らしやすい時代に合った地域をつくる</p> <p>【数値目標】 自然災害から安全度が高いと思っている市民の割合 平成30年度 77.2%→令和6年度 85%</p> <p>【KPI】 自治会加入率 平成30年度 74.72%→令和6年度 70%以上</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	音楽祭の開催 ・参加団体受付 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	音楽祭の開催 ・参加団体受付 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	音楽祭の開催 ・参加団体受付 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等		音楽祭の開催 ・参加団体受付 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等
事業費	2,455,657	2,143,660	3,000,000	7,599,317	3,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,441,638	2,129,655	3,000,000	7,571,293	3,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	14,019	14,005	0	28,024	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	小林 大貴
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡市音楽祭	
対象年度	令和2	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	3,000,000	真岡市交付金
計	3,000,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	530,000	530,000	150,000	0	演奏技術指導ボランティア謝礼金 特別演奏出演料
消耗品費	50,000	50,000	0	0	事務用品等
食糧費	30,000	30,000	0	0	実行委員会お茶 特別演奏者ケータリング
印刷製本費	300,000	300,000	125,000	0	ポスター・チラシ印刷 プログラム印刷
手数料	30,000	30,000	0	0	郵送料
保険料	5,000	5,000	0	0	スポーツ安全保険料(演奏 技術指導ボランティア)
委託料	2,055,000	2,055,000	725,000	0	ピアノ調律 音響・照明委託料 児童生徒送迎業務委託料 楽器輸送業務委託料 警備業務委託料
計	3,000,000	3,000,000	1,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。  
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡市大産業祭
事業主体の名称	真岡市大産業祭実行委員会
代表者の名称	委員長 石坂 真一
事業主体の所在	〒321-4395 真岡市荒町5191番地 真岡市商工観光課内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:真岡市の商業・工業・農業を広く紹介し、市民生活の向上と経済活動の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和58年</p> <p>・構成員等:真岡市、真岡商工会議所、真岡市商店会連合会、真岡工業団地総合管理協会、真岡産業振興会、はが野農業協同組合、真岡市消費者まつり実行委員会、真岡市子ども会育成会連絡協議会</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>大産業祭は、今回で第31回を迎え、商業・工業・農業が集結する秋の一大イベントとして定着している。本市では、商業・工業・農業など、バランスのとれた各種産業の発展を図るとともに、首都圏に位置する地理的優位性や物流の基幹となる北関東自動車道を十分に活かした基盤整備を図り、企業誘致を推進し雇用環境を創出するなど、地域経済の活性化に取り組んでいる。しかし、商業地には大型店や量販店が点在し、既存の中小事業者は極めて厳しい経営環境にあるため、創意工夫した共同事業を実施することで、中心市街地の賑わいや魅力ある商店街づくりを促進する必要がある。</p> <p>また、「生産量日本一のいちごのまち」として知名度アップやブランド力向上に努めるほか、トマトやなすなどの施設園芸作物を支援し「園芸立国もおか」の推進を図っている。しかし、農業従事者の高齢化や担い手不足、産地間競争の激化などに対応するため、いかにブランド力を高め収益性の高い農業生産に努めるかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・真岡市の商業・工業・農業を広く紹介し、魅力を市内外に積極的かつ効果的にPRする。</p> <p>・市民生活の向上と経済活動の発展に寄与する。</p> <p>・各種地域資源をつないだ「真岡ブランドづくり」を推進する。</p> <p>・次代を担う後継者を確保し、移住定住を促進する。</p>
事業概要	<p>【令和2年度】</p> <p>市民広場をメイン会場に、産業祭、JAまつり、消費者まつり、子どもまつり、環境展など、真岡市の商業・工業・農業が集結する一大イベント「大産業祭」を開催する。</p> <p>○大産業祭の開催(令和2年11月23日(勤労感謝の日))</p> <p>①産業祭(事業主体:真岡商工会議所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員事業所のPR・製品紹介、ミニ建前、リフォーム相談会、「B級グルメ」販売、ステージイベント、ふれあい動物広場</li> <li>・北関東交流フェア(佐野市、大洗町の特産品の販売)</li> <li>・埼玉県桶川市(防災協定都市)による特産品販売</li> <li>・自衛隊PRコーナー(自衛隊車両や装備品の展示、グッズ販売)</li> <li>・警察車両の展示</li> </ul> <p>②JAまつり(事業主体:はが野農業協同組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品の無料配布や販売による真岡ブランドづくり、消費拡大を図る。</li> <li>・各種PRブース設置(地域芸能の発表、農協観光PR、農作業安全PR、作品や活動写真の展示)</li> </ul> <p>③消費者まつり(事業主体:消費者まつり実行委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者団体が一堂に会し日頃の学習成果を発表するとともに、市民に消費生活についてのPR</li> <li>・食品表示を学ぶコーナー、物品の販売など</li> </ul> <p>④環境展(事業主体:市環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル品の展示及び抽選会、古本販売、フリーマーケット、使用済小型家電の回収など</li> </ul> <p>⑤子どもまつり(事業主体:真岡市子ども会育成会連絡協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬店、昔遊び、クイズ大会を実施し、子どもの健全育成を図る。</li> </ul> <p>○誘客</p> <p>同時開催するJAまつり、産業祭との統一チラシを作成し、市内全域にオールポストすることで、集客力を向上させ各産業経済の活性化を図る。</p> <p>市広報、会議所だより、農協だより、観光協会ホームページ、下野新聞、真岡新聞等に掲載。ケーブルテレビ等での周知。</p> <p>【令和3年度以降】</p> <p>令和2年度の実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標1 人材を育て、しごとをつくり、安心して働ける環境をつくる</p> <p>【数値目標】 事業所数(従業員4人以上) 平成30年度 177事業所→令和6年度 200事業所</p> <p>製造品出荷額等 平成30年度 6,205億円→令和6年度 6,300億円</p> <p>【KPI】 いちご販売額 平成30年度 81.1億円→令和6年度 90億円</p> <p>創業者数 平成30年度 5人→令和6年度8人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	大産業祭の開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等 ・警備及び交通整理	大産業祭の開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等 ・警備及び交通整理	大産業祭の開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等 ・警備及び交通整理		大産業祭の開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等 ・警備及び交通整理
事業費	1,390,000	1,390,000	1,390,000	4,170,000	1,390,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,260,000	1,260,000	1,260,000	3,780,000	1,260,000
うち県交付金	630,000	630,000	630,000	1,890,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	130,000	130,000	130,000	390,000	130,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	小林 大貴
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡市大産業祭	
対象年度	令和2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,260,000	真岡市補助金
負担金	130,000	統一チラシ作成(農協、商工会議所)
計	1,390,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	770,000	770,000	385,000		会場警備費
広告費	420,000	290,000	145,000	130,000	統一チラシ作成費 合図花火
工事請負費	160,000	160,000	80,000		放送設備電気工事代
使用料及び賃借料	40,000	40,000	20,000		テント・机・椅子レンタル料
計	1,390,000	1,260,000	630,000	130,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡いちごウオーク
事業主体の名称	真岡いちごウオーク実行委員会
代表者の名称	実行委員長 岡本 俊夫
事業主体の所在	〒321-4395 真岡市荒町5191番地 真岡市農政課内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:いちごの生産地、文化財、景勝地等の本市の魅力を発信し、体感・実感・魅力への気づきを促進することで、交流人口の増加や移住・帰農につなげることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成30年11月26日</p> <p>・構成員等:真岡市、真岡商工会議所、にのみや商工会、真岡市観光協会、はが野農業協同組合、真岡市青少年クラブ協議会、井頭温泉チャットパレス、Trattoria COCORO、栃木県、真岡市体育協会、真岡市スポーツ推進員、市民団体</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	日本一のいちごの産地として、51年連続1位を誇る栃木県の骨幹を担う本市では、生産技術の向上により単収を上げ、いちごの販売額も年々増加の一途を辿っている。しかし、少子高齢化の進展に伴い、近年、後継者不足や離農者の増加により、生産者数は減少の一途を辿っており、担い手の確保が喫緊の課題となっている。そのため、都市と農村の交流及び交流人口の増加により、日本一のいちごの産地としての魅力を伝える機会を確保し、新規就農者及び帰農者の確保へ繋げていくことが必要となっている。
事業目的	<p>・参加者種別の垣根の低いウオーキングにより、幅広い地域や年代からの参加者を確保する。</p> <p>・都市と農村の交流及び交流人口の増加を図る</p> <p>・特産品のいちごを絡ませ、将来の就農や移住を促進する</p> <p>・ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を醸成する</p>
事業概要	<p>【令和2年度】</p> <p>いちごの生産地・文化財・景勝地等を歩いて巡るウオーキングを開催し、コース上に設けられたエイドステーションにおいて真岡市の最大の魅力である「いちご」や地域住民の創意工夫による“おもてなし”を提供する。市内観光スポットや、真岡市最大のいちごイベント「全国いちごサミット」とコラボすることにより、都市部の人々に訴求する事業として交流人口の増加を図っていく。</p> <p>◎真岡いちごウオークの開催(令和3年3月頃)</p> <p>・21km、12km、7kmの市内を巡る3コースを設定</p> <p>・定員1,500名 参加費一般:1,500円、小中学生500円</p> <p>・コース上にエイドステーションを設置し、いちごや飲み物、地域の創意工夫によるおもてなしを提供する。</p> <p>・いちごの生産地・文化財・景勝地等を歩いて巡り、体感・実感・魅力への気づきを促進する。</p> <p>○誘客として</p> <p>・募集チラシの制作、WEB・SNSでの情報発信及び協賛事業者確保により誘客を図っていく。</p> <p>・国、県のウオーキング協会の協力により募集の呼びかけを促進する。</p> <p>・スタート地点、真岡駅、いちごサミット会場とを結ぶシャトルバスの運行により誘客を図っていく。</p> <p>【令和3年度】</p> <p>令和2年度の実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れを作る</p> <p>【数値目標】 東京圏への転出超過 平成30年度 11人→令和6年度 転入超過を目指す</p> <p>【KPI】 真岡市を「いちごのまち」とイメージする市民の割合 平成30年度51%→令和6年度 70%</p> <p>移住相談件数 平成30年度 25件→令和6年度 45件</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和2年度			支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	真岡いちごウオークの 開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等 ・コースの安全管理				真岡いちごウオークの 開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等 ・コースの安全管理
事業費	6,360,000			6,360,000	6,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,000,000			4,000,000	4,000,000
うち県交付金	2,000,000			2,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,360,000	0	0	2,360,000	2,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	小林 大貴
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

--	--

--	--

--	--

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
	4,000,000	
	1,550,000	
	50,000	
	755,555	
	4,445	
	6,360,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
	340,000	250,000	125,000	90,000	
	220,000	50,000	25,000	170,000	
	150,000			150,000	
	250,000	250,000	125,000	0	
	350,000	350,000	175,000	0	
	10,000			10,000	
	20,000			20,000	
	4,800,000	3,000,000	1,500,000	1,800,000	
	150,000	100,000	50,000	50,000	
	10,000			10,000	
	60,000			60,000	
				0	
	6,360,000	4,000,000	2,000,000	2,360,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。  
 具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。